

城西コミュニティセンター市長懇談会

○日 時：平成 30 年 7 月 26 日（木） 午後 2 時 30 分～3 時 50 分

○場 所：城西コミュニティセンター

○参加者： 30 名

○担当者：市長

地域担当職員：新開（保険課）、福本（教育部総務課）、宮本（高齢者支援課）
山本（健康課）

1. 会長あいさつ

暑い中参加していただきありがとうございます。5月の総会で会長に就任した。よろしく願います。来月は敬老会、10月には城西まつりなどいろいろな企画や行事をしており、市長にはその都度来ていただいている。

事前に提出しているが、城西コミュニティも様々な課題がある。時間的な制約もあるが、忌憚ない意見を出していただき、いい懇談会にしたい。よろしく願います。

2. 市長あいさつ

今年度も開催していただきありがとうございます。このような形で地区ごとの意見交換会をすることにより、市全体だけでなく、コミュニティごとの課題が見えてきて、大変貴重な機会だと思っている。すぐに実現することは難しいこともあるが、率直な意見交換をお願いしたい。

初めに丸亀市総合計画について説明する。合併したときに、第1次総合計画を策定し、一昨年で10年が経過した。その後を引き継ぐ総合計画として第2次総合計画を作った。これは8年で取り組む方針を決め、4年ずつ前期と後期に分け重点的に取り組む内容を決めている。「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」を目指そうと、丸亀市が持っている魅力を最大限磨いて、生活している私たち自身が誇りを持って暮らしていけるのか、安心して暮らしていくことができるのかという視点でまとめた。当たり前のことだが、当たり前のことを実現できるような丸亀にしたいと思っている。

大きい柱は5つある。1つは「子育て」である。子どもが安心して育つような環境づくりをしたい。2つ目は「安心して暮らせる」ということで、災害対策や河川や道路などの社会資本の整備など安心して暮らせる基盤が必要である。3つ目は「活力がみなぎ

る丸亀」。経済的な豊かさということで丸亀市の活性化ということに触れている。4つ目は「健康に暮らせる」。平均寿命は延びるが健康寿命が延ばさないといけないということで、健康作りがいかに大切であるか、子どもたちにも生活習慣病が広がるということのないように考えたい。最後5つ目は「みんなで作る」ということで、コミュニティ市長懇談会もその一つの取り組みだが、コミュニティ活動を軸にみんなで作っていこう、また文化財などを大切にし、みんなに誇れるような丸亀にしようと考えている。以上が5つの大きな柱である。これらの計画に沿って4年間かけて取り組んでいくというものである。

都市計画のマスタープランは20年ぐらいの長い計画で、丸亀だけの計画ではなく、県全体の計画である。ちょうど10年経過したので、中間見直しをしている。目指す将来像の中で市内を4つの区域に分類し、それぞれの特徴にあったまちづくりをしていこうと考えている。1つは中心市街地地区、城西地区はこの地区に該当している。この地区は中心拠点でもあり、交流拠点でもある。飯山・綾歌地区はそれぞれ地域拠点として位置づけ、総合運動公園地区を交流拠点として設定した。それぞれの拠点にあったまちづくりを進めていこうということで設定している。合併後の新丸亀市の中心はJR丸亀駅から丸亀城のあたり大手町が中心市街地だと改めて位置づけした。中心市街地に新庁舎など都市機能を集約し、それぞれの地区を公共交通で結んでいく。城西地区は、都市的な機能と交流拠点を目指していくことになると思う。

3. 地域担当職員紹介

4. 自由討議

(1) 身近な公園の整備について

(男性 60代)

総合計画の中に「子育てするなら丸亀」の実現を目指すとあるが、身近な公園整備の概念についてお伺いしたい。城西地区は近くに丸亀城や蓮池公園もあり、恵まれている環境だと思う。しかし、乳幼児が遊べるような公園がない。城西地区にはマンションなどがたくさんできており、子育て世代の人が増加している。大きな公園の整備も必要だと思うが、気軽に利用でき、日向ぼっこをしながら交流できるような小さい公園も必要だと思う。空き地や耕作放棄地が多くあると思うので所有者の許可をもらい乳幼児とその親たちが遊べる公園を整備して欲しい。

(市長)

総合計画で重点プロジェクトとして身近な公園の整備をあげている。子育てをしている人が孤立しがちになっている最近の傾向の中、子どもたちが遊ぶことと親同士の交流してもらおうということもねらいにしている。総合計画の中では各コミュニティに1ヶ所、ある程度大きな規模の公園を整備しようと考えている。

先ほどご質問いただいた50坪程度の身近な公園、例えば昔からある児童公園や新しい団地内の公園があるが、そういう場所は誰も管理をしないという問題がある。管理が難しいが、ベンチや遊具が少しあるよう小規模の公園があれば思う。また耕作放棄地を公園的に利用することも検討してもいいのではないかと思う。しかし市役所が管理していくとなれば莫大な経費が必要になる。現在、小規模の児童公園などは約250ある。もっと増やすということになれば、地域のみなさんのある程度の協力は必要になると思う。

(2) ヴィリッヒ市との交流について

(男性 60代)

ドイツとの交流をしていると思うが、今後も交流を深める予定であれば、ドイツ語が堪能な人が必要になる。人材育成などどのように考えているか。また以前、ドイツ大使をされていた^{しんよ}神奈さんという方は丸亀高校出身であり、親族も丸亀市に居住している。そういった方にどう関わってもらえるのか、展望があればお聞かせいただきたい。

(市長)

ドイツの^{しんよ}神奈さんは、丸亀高出身でドイツの特命全権大使という素晴らしい肩書きをもっていた方である。

ドイツでは日本と友好都市を結びたいまちがたくさんあると聞いている。ヴィリッヒ市は人口52,000人、ヨーロッパ最大の工業団地がある団地がある。そのヴィリッヒ市が日本で1都市、ヨーロッパで1都市、友好都市になりたいという話があり、^{しんよ}神奈さんから丸亀はどうだとお話があった。ちょうど同じ時期、ヴィリッヒ市にある^{しん}聖ベルンハルト・ギムナジウムという学校と丸亀市の藤井学園が友好協定を結んだ。このようなこともあり、ヴィリッヒ市から熱烈な誘いがあり今年訪問した。今後は藤井学園を中心に子どもの交流を図っていき、市全体の子どもたちの交流に結び付けたいと考えている。将来的にはサン・セバスティアンと同じような交流を図っていきたい。

(男性 60代)

丸亀市内の人材発掘についてはどう考えているか。

(市 長)

国際交流協会に所属しているドイツ語ができる人などがいると思う。なかなかはっきりとは分からない部分もあるので、ドイツビールの夕べなどイベントなどで発掘していくということになると思う。

(3) 外堀公園について

(男性 70代)

外堀公園を毎朝犬の散歩で利用している。高齢者がベンチに座って休憩しているのをよく目にする。ベンチは3つあると思うが、東側にはベンチがないので設置して欲しい。また、大人の健康遊具があるのみで、子どものための簡単な遊具を設置していない。外堀公園は城西校区の中心になると思う。子ども連れの親子も利用しているのでぜひ検討いただきたい。またベンチを修繕しているが、色が塗られていないので併せてお願いしたい。

(市 長)

外堀公園について、整備しているがあまり効果がみえないように思う。これからの公園整備は、みんながゆっくりできる東屋やベンチ、子どもが使いやすいような簡単な遊具など、風景がきれいな公園ではなく、中身のある整備をした方がいいと個人的に思う。ベンチ増設、色塗りについては確認しておく。

(4) 蓮池公園内のトイレについて

(女性 60代)

蓮池公園では、朝夕ウォーキングや学生がジョギングするなど、いろいろな人が利用している。南側に1ヶ所トイレがあるが、一番奥が女性用のトイレである。とても暗く、キレイではない。部活で利用している女子中学生はそのトイレは怖いので利用しないといていた。夏になると、ホームレスが寝泊りしているようである。夕方になると、トイレトペーパーをたくさん使って身体を拭いたり、障がい者用トイレで身体を洗ったりしている。誰も利用できないトイレになっているので、何か対策を考えて欲しい。

(市 長)

担当課で調べて何らかの対策があれば考えたい。ホームレスについては警察と連携を取りながら、保護していかなければならないと思う。

(5) 学校給食について

(女性 60代)

総合計画の中のプロジェクトに学校給食による食育の充実とあるが、何ヶ月か前の新聞にそのような記事が載っていた。学校給食では忘れた頃に異物混入事件があるように思う。なぜそんなそのようなことになるのか不思議だ。実際に発生している件数より発表している件数の方が少ないように思う。原因がわからないのは不安である。

(市長)

何かあれば必ず報告するような体制なので、報告していないということは考えにくい。ずいぶん昔に給食センターの器具の一部が混入したことはある。その後全部の給食センターで金属探知機を導入したので、その後の混入については給食センターでの混入の可能性は考えにくい。1つの実例として子どもが混入させたケースがあった。混入が発覚した場合、間に合えば給食を止める措置をしている。デリケートな問題でもあるので現場の先生と一緒に考えなければならないと思っている。

(6) 学校のエアコンについて

(女性 60代)

今年は酷暑だが、岐阜県の多治見市では学校のエアコンがほとんど設置されていないと聞いている。一方、香川県では90何パーセントと全国でも上位の方だと聞いている。丸亀市ではどうか。

エアコンを入れる温度について、28℃で入れてくれる先生がいたり、30℃でやっと入れてくれる先生がいると孫に聞いた。統一するよう徹底すべきだと思う。

(市長)

エアコンはほぼ100%設置完了している。エアコンを入れるときの温度については、先生と子どもたちの相互理解が必要だとも思う。教育委員会に報告をしておく。

(7) 観光客の食事処について

(女性 60代)

浜町で福祉の店をやっている。観光客からうどん屋がどこにあるかとよく聞かれる。おそらく駅から徒歩で丸亀城に行くつもりの方だと思うが、歩いて行ける距離で紹介できる場所は「つづみ」しか思い当たらない。商店街には空き店舗が多くあるので、市が経営しうどん屋にすればどうかと思う。考えて欲しい。

(市 長)

駅の近くには数件のうどん屋がある。市役所が経営というのは難しい。観光協会がいろいろな事業に取り組んでいるので、商店街の空き店舗を利用してできるかもしれない。駅の高架下にうどん屋が以前あったが撤退した過去がある。やはり経営的に難しいのかもしれない。観光客に対してのみの商売は上手く成り立たないのではないかなと思う。

(8) 防災公園について

(女性 60代)

御供所にある防災公園に行ってみた。あれほどの規模でなくても、もう少し数を増やしてあればいいと思った。防災公園は広いが日よけがあまりない。所々に日よけとベンチがあればいいと思う。

(市 長)

けんこう防災公園について、日よけや木がない。今後地元からも要望が出されるかもしれない。いろいろな意見があるがなかなかまとまらないのも事実である。他の人からも同じ意見を伺っている。試行錯誤しながら検討していく。

(9) 緑道公園について

(女性 60代)

緑道公園に不審者が出て、防犯カメラをつけていただいた。去年、防犯カメラを外すと今後取り付けるなら地元でお金を負担しなければならないと言われた。おかしいと思う。

健康遊具を整備しているが、高齢者が来て利用しており、とても好評である。欲を言えばお城にあるような大中小の鉄棒があればいいと思う。

東側にトイレがある。非常に汚くてほとんど利用していないように思う。掃除や管理はどこがしているのか。ある程度キレイに保って、いろいろな人に利用して欲しいと思う。

(市 長)

防犯カメラは今も設置していると思う。県警で10年前に設置してもらっている。県警から今後は更新しないという旨の連絡があり、継続して市が管理することになった。故障などで新規に設置する場合の費用についてどうするかは、検討しなければならない。管理や電気代などは市が負担している。

トイレの清掃については、できる限りしていただいていると思うが、毎日難しい。市内のトイレは 50 ヶ所ぐらいある。どこまでの頻度でやるのか難しい。維持管理にはお金がとてかかる。地域でもできる範囲でやっていただきたいと思う。

市内にあるトイレは様々な課に所管が分かれている。市内のトイレは一元管理しなければならないということで、それぞれの担当が集まりトイレ情報を集約する作業を今年から始めている。

(10) コミュニティバスについて

(女性 60代)

運転免許証をもう少ししたら返納しようかと思っている。自転車やバスを利用し、返納後の生活のために練習している。総合計画に「安心して暮らせる」の中にコミュニティバスの充実とある。バスを利用してみてわかったのだが、目的地に行くために乗換えが必要な場合があり、乗り換えるためにとても時間がかかってしまう。電車ほど上手く乗り継げなくてもいいので、最低でも 30 分に 1 本ぐらい運行してくれれば利用者は便利だと思う。

(市長)

バスの頻度や運行ルートについて、改正するたびに改善するようにしている。工夫をしているが、みなさんが満足するのは難しい。運行を今の本数の倍にするには、簡単に言えば、経費も倍かかる。自動車利用から公共交通に完全に移行するのはなかなか難しい。今後、免許証返納をする高齢者が増加しているので、そういった世論も出てくると思う。敬老会の年齢を今年から 76 歳に上げさせていただいた。段階的に引上げて 80 歳にする予定である。その予算は高齢者の交通の確保に利用できればいいと考え、手法を検討したいと思っている。

(11) 丸亀城について

(女性 60代)

先日、NHKで丸亀城が出ていた。丸亀城は写真映えすると紹介されていた。現在の丸亀城は大きな木が多く、キレイな石垣が隠れてしまっている部分がある。大きな木を切ってすっきりしてはどうか。また、JRに乗っていると瀬戸大橋の上あたりで瀬戸大橋の紹介アナウンスが流れる。電車から丸亀城が見えるので、JRにお願いして、PRを試みてはどうか。

旧NTTの建物が現在テナント募集している。観光物産館に利用できないか。お

城の前だし、観光客も利用しやすい。

(市長)

丸亀城の石垣をキレイに見せるためにも、木を 95 本ほど切った。一定の効果はあったように思う。木はいくら切っても伸びてくる。石垣にダメージを与える木を計画的に切っている。

NTTビルについては、物産館にしようかと検討したが、家賃が月 150 万円だと聞き断念した。物産館やカフェ、うどん屋など市民や観光客が一日中楽しめるような場所は必要だと理解しているので、新しく建設する市庁舎をはじめ、大手町地区全体を整備する中に含めて検討していきたい。ご理解いただきたい。

(女性 60代)

散歩でよく丸亀城を利用している。豪雨で石垣が崩れ、通行止めになりぐるっと周れなくなった。目で見ても危険だとは思わないところも通行止めになっている。いつ頃、解消される予定か。修復にはどれぐらい期間がかかるのか。

(市長)

帯曲輪が崩れると上の部分も崩れてしまう危険性がある。文化庁の専門家に調査してもらい、すでに業者には発注も済ませている。工事の段取りがつき次第できるだけ早い段階で通行止めを解除し、周回できるようにしたいと思う。

修復まで 14 年かかると言われている。

(12) 自治会加入について

(会長)

総合計画の中で自治会の加入率の目標を 60%と設定していた。城西地区は現在 63%である。城西地区はマンションが増加し若い人が多く住んでいる。管理組合と連携を取りながら自治会加入促進するという動きもあったが、強制的に加入させるのは難しいということになっている。自治会加入促進のためには、市民の理解を得るためにも、自治会加入促進の条例化の取り組みが必要だと思う。強制力はないが、自治会に加入し地域と連携をとっていくことの理念を示すべきではないか。

(市長)

検討している。昨年、コミュニティで協議会を結成していただき、自治会加入促進を含め検討、提言いただいた。市でも半強制することはできないかと方法を検討したが、強制は難しいことがわかった。今年、自治会加入推進委員を予算化し、新たに開発する団地に対し新しく自治会を作ってもらうように取り組んでいただく

ことにしている。自治会加入に対する理念などを市民に伝えていくことは重要であると思う。

豪雨災害が起きた真備町に行った。自治会があり、自治会長がいる場所にはボランティアの人をすぐ派遣できたという事例があった。地域の中で助け合うということの大切さは災害などが起きた際よくわかる。引き続き検討していきたい。